

## 入門機器分析【9】

# 物性測定（その2）

【日時】 2018/10/11（木） 13:00-17:00

【場所】 九州大学伊都キャンパス・工学部第4講義室（西講義棟3階）

【主催】 九州大学中央分析センター

【共催】 九州大学ナノテクノロジープラットフォーム

【協力】 メトラー・トレード株式会社

### 13:00-14:50 高精度な計量のための天秤の基礎と応用

天秤の計量値には、サンプル質量以外の要素を含む事があります。正確な計量値を得るには、これらの計量を阻害する要素を排除する事が必要です。様々な計量阻害要素を理解して計量値の精度を上げる方法について前期のセミナーで解説しました。今回はこれに加えて、「不確かさと最小計量値」に関して詳しくご説明します。

### 15:00-17:00 力学的特性から見た熱分析～TMA/DMA測定の基礎～

熱分析においては、物質の熱量や重量変化そして温度差などが、多くの場合において測定対象となっています。しかしながら、力学的特性を同時に測定する手法も存在し、それらは熱機械分析(ThermoMechanical Analysis: TMA)、動的熱機械分析(Dynamic Mechanical Analysis: DMA)と呼ばれ、それぞれ、熱的な形状変化や熱的弾性率・粘弾性率変化を測定対象としています。本講義では、これらTMAとDMA測定の基礎をいくつかの例を交えてご紹介致します。

前期のセミナー（第118回）では物性測定（その1）を開催しましたが、時間の関係上言及できなかった天秤の不確かさや力学的特性から見た熱分析について知識が得られる内容です。学内外どなたでもご参加できます。事前の参加登録にご協力お願いします。

【問合せ・申込先】

九州大学中央分析センター伊都分室 渡辺 TEL092-802-2857  
watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp